

～令和5年度ジュニア学部開催レポート 第4号～

【ふわり体験 航空スポーツ教室】

10月14日(土)に、熱気球の搭乗体験と模型飛行機の制作などを学ぶ、ジュニア学部の講座を開催しました。対象は小学3～6年生で計27名が参加しました。今回の講座は一般財団法人日本航空協会のスカイキッズプログラムを依頼し、実施していただきました。

熱気球の搭乗体験は天候に左右されるもので、少しでも風が強いと搭乗ができないそう。風の影響が少ない早朝の集合でまだ眠そうな参加者もいましたが、幸運にもこの日は天候に恵まれ、熱気球に搭乗することができました。

その後、模型飛行機を制作し、飛行の仕組みを学びました。講師の説明を聞き、翼の向きや組み立て方、慣れない接着剤の扱い方などに悪戦苦闘しながらも模型飛行機のキットを完成させました。そしてグラウンドに出て、自分の作った飛行機を飛ばしました。プロペラを回してゴムを巻き、手を放して飛行機を飛ばします。初めて成功した有人飛行の滞空時間が12秒だったそうで、その12秒を目標に飛ばすよう、参加者は翼の位置を微調整するなど工夫しながら飛ばしていました。

最後は、航空の歴史と航空スポーツについてDVDを鑑賞して学びました。また、揚力実験装置を使用して飛行のメカニズムについて説明を聞きました。そして、修了証とピンバッジを授与されました。

参加者からは、「熱気球は意外と落ちそうで怖かった」「また気球に乗りたい!」「飛行機を作って、最初は全然飛ばなかったけどコツをつかんでからは14秒も飛ばせてとてもうれしかった」と講座を満喫してくれました。

